

令和7年度支援プログラム 案

そら

令和 7 年 2 月 1 日

事業所理念	そらは様々な遊びを通じて、楽しくわくわくした充実した生活を支援します。Action(行動する)、Sociality(社会性)、Imagination(想像、創造)、Communication(伝える)の4つの力、視点から支援を行います。	営業時間	第1単位 10:00~17:30 第2単位 9:00~17:00
支援方針	①新しい環境での生活に慣れる。 ②活動の幅を広げたり、社会経験を増やしたりしていく。 ③活動を通して、興味・関心を増やしていく。	送迎実施の有無	有

※受け入れ施設の都合や感染症の流行等により、支援内容をやむを得ず変更する場合があります。

5領域	ねらい	支援内容	
健康・生活	健康状態の維持・改善	健康状態の把握	生活リズムの形成
	生活リズムや生活習慣の形成	健康の増進	手洗い、うがい、マスクの着用 靴を下足箱に置く
		リハビリテーションの実施	着替え、片付け、準備☆ 公園などの周辺散策☆
	基本的な生活スキルの獲得	基本的な生活スキルの獲得 構造化等により生活環境を整える	苦手な食べものに挑戦 調理、長期休みのおやつ作り
運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上	体操やストレッチ
		姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	正しい姿勢で椅子に座る☆
	姿勢と運動・動作の補助的手段の活用	身体の移動能力の向上	平均台を使うバランス運動
		保有する感覚の活用	ウォーキング
保有する感覚の総合的な活用	感覚の補助および代行手段の活用	粘土工作、家族へのプレゼント作り☆	
	感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)への対応	シートベルトの着用	
認知・行動	認知の発達と行動の習得	感覚や認知の活用	物の配置やトイレの場所の理解
		知覚から行動への認知過程の発達	玉入れゲーム
	空間・時間、数等の概念形成の習得	認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	塗り絵でいろんな色を選ぶ
		数量、大小、色等の習得	のり、セロハンテープを使う、貼る☆
対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	認知の偏りへの対応	市内の施設の利用☆	
	行動障害への予防及び対応	動物や植物を知る	
言語・コミュニケーション	言語の形成と活用	言語の形成と活用	「おはよう」「こんにちは」などの定着☆
	言語の受容及び表出	受容言語と表出言語の支援	「〇〇さん」と名前を呼ぶ
		人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得	「ありがとう」「ごめんなさい」のやり取り
	コミュニケーションの基礎的能力の向上	指差し、身振り、サイン等の活用	ハンドサイン、発声による思いを伝える練習
コミュニケーション手段の選択と活用	読み書き能力の向上のための支援 コミュニケーション機器の活用	絵本の読み聞かせ イベントの振り返り発表会☆	
人間関係・社会性	他者との関わり(人間関係)の形成	アタッチメント(愛着行動)の形成	列に並ぶ、順番を待つ☆
		模倣行動の支援	外での食事☆
	自己理解と行動の調整	感覚・運動遊びから象徴遊びへの支援	他者とおもちゃを共有
		一人遊びから協同遊びへの支援	仲間集めゲーム等の集団活動
仲間づくりと集団への参加	自己の理解とコントロールのための支援	動物園や図書館など公共施設へ外出活動☆	
	集団への参加への支援	公共交通機関を使って集団活動	
家族支援	ご家族のニーズを受け、家族(きょうだい)の困りごとを相談する場を設けたり、関係機関に繋いだりする等の支援を行う。		
職員の質の向上に資する取組	事業所の提供する支援の質を確保するため、年間計画に基づく事業所内研修の実施や、外部研修への派遣を行い、職員の質の向上を図る。		
地域支援・地域連携、主な行事	別紙①参照	移行支援	別紙①参照

※1 上記以外にも個別支援計画に沿った支援を適宜行っております。

※2 ☆印はイベントを想定した支援内容になります。